



発想の転換を

副校長 宮脇 聡

昔話は深いメッセージを発していると言われます。これは最近聞いた昔話です。

ある国の王様は、何不自由なくお城で暮らしていました。あるとき、お城の外を歩きたいと思いました。しかし、城壁の外は岩がごろごろしていて、そのままでは歩くことはできませんでした。王様は、「皮のじゅうたんを城の外にも敷きつめれば良いのだ。」と考え、家来を総動員してじゅうたんを敷きつめようと思いました。けれど、城のまわりを少し敷くのがやっとで、家来も次第にいなくなり、財産もなくなりました。王様は願いが叶うことなく亡くなりました。

その国に住んでいた一人の子供もまた、城の外を歩いてみたいと思いました。でもその子供は、王様のように、外の世界を変えようとは思いませんでした。「ボクにはじゅうたんを敷きつめることはできない。でも、自分の足の裏に皮を張り付けることならできる。そうすれば、自由にどこにだって行くことができるじゃないか。」と、皮のじゅうたんをほんの少し切り取って、皮ぐつを作りました。その子供はそのくつを履き、お城の外に出て、どこへでも歩いて行けるようになりました。

さて、この話のメッセージは何でしょうか？

誰にでも、自分の境遇や人間関係について思い悩むことはあることです。そして、「あれが変われば・・・」「あれさえなければ・・・」などと考えてしまうものです。しかし、自分を取り巻く環境を、自分の都合の良いように変えることは不可能です。たまたま一つが望み通りになったとしても、やがてさらなる望みが生まれ、新たな悩みの種を作るようになるでしょう。人の欲望は尽きないものです。しかし、少し自分の考え方を試してみてもいいでしょうか。

同じ物事が起こったとして、人によって様々に受け取り方が異なります。また同じ人でも、心の状態で感じ方が変わることもあります。人が、何か悪いことが起こったと捉えたとき、実際に、悪いことや不運なことが起きているとは限らず、その人自身がそう捉えてしまっているのです。そして更に悪のスパイラルにはまっていくこともよくありがちです。物事には様々な見方ができます。試合で負けたスポーツ選手が「今日の負けを糧に、次につなげもっと強くなりたい。」とよく言っています。きっと悔しさでいっぱいでも、それをバネにして更なる高みを目指そうとしているのではないのでしょうか。「ピンチはチャンス」これもよく聞きます。逆境にあっても前向きに捉えようとしているということでしょう。

つい、愚痴が出てくるときは、少し自分の考え方を試してみてもいいでしょうか。そうすることによって、いつもと違った新たな世界が目の前に広がるかもしれません。物事に執着して、暗い気持ちでいるより、心が楽になり自由になるはずですよ。そして周囲の人にも穏やかに接することができるようになることではないでしょうか。今月は「ふれあい月間」です。



国立市 市政50周年

国立市が昭和42年、市制を施行して以来、本年で50年となりました。11月3日に国立市制施行50周年記念式典が開かれました。平和をテーマとした、くにたち平和組曲『祈る日』の初披露も行われました。また、国立市歌は、本校でも聞きましたが、市歌のように、“平和なまち・自由のまち・理想のまち”であることを祈ります。



ふれあい月間

東京都では、6、11、2月を「ふれあい月間」と定め、いじめの未然防止や根絶の強化月間としています。本校でも様々に取り組んでいます。生徒へのアンケートも実施し、必要に応じて、面談をもち、適切な指導を行います。今回はアンケートの実施方法を変え、精度を高める予定です。

「自ら考え正しい判断のできる人」を実践し、いじめのない、温かい学校を目指します。

ひまわりプロジェクト 終了



1学期より全校で取り組んでいたひまわりプロジェクトも、無事に町田リス園にひまわりの種を贈呈し、終了しました。例年の、1学年の種まき、3学年の刈り取り、2学年の種取りに加え、1学年有志による間引きを行いました。

町田リス園はリスが放し飼いにされており、種を直接あげることができます。この種が国立三中で収穫した物です。是非一度御来園くださいと、園長の樋口さんが仰っていました。

職業講話 2学年 10月20日

1月の職場体験に向けて準備が始まりました。今回、ハローワークの方にして頂いた講話では、様々な職業の人になりきってインタビューをするという、ワークショップを行いました。様々な職業について楽しく学ぶことができました。次回はあいさつ等マナーを学びます。



職場体験の具体的なイメージにつながったのではないかと思います。

A組合同宿泊学習 10月31日～11月1日

国立一中A組と合同で宿泊学習に行ってきました。1日目は高尾山登山、2日目は高尾の森わくわくビレッジにて体験学習(サラダボウル・紙飛行機作り)を行いました。2日間とも天気に恵まれ、登山やキャンプファイヤーなどの外の活動も予定通り行えて良かったです。また、一中との交流も、体験学習中だけでなく、自由時間でも鬼ごっこやカードゲームで親睦を深めることができました。爽やかな2日間でした。

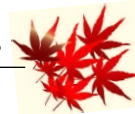


1年 校外学習 10月30日

1年生は「私たちの住む国立市を知り、学ぶ」というテーマで、ヤクルト中央研究所と沢登キウイ園へ出かけました。移動は全て徒歩で、一部は地図を見ながらの班行動でした。交通マナーや、班での集団行動に気をつけながら歩きました。



ヤクルト研究所では、乳酸菌シロタ株や、それを発見した代田稔博士の生い立ち、研究の努力等を知ることができました。沢登キウイ園は日本で初めて、キウイの株を入手した所で想像より広い園内とたわわに実ったキウイを見ることができました。園の方の説明をしっかりと聴くことができました。



11月10日 夢未来プロジェクト(オリンピック・パラリンピック教育推進事業)

高山 樹里 先生(元全日本ソフトボール選手) 深山 計 様(フリーアナウンサー) 来校

本校に女子ソフトボール元オリンピック選手の高山樹里先生、アナウンサーの深山さんが来校されました。高山先生はピッチャーとして、アトランタ、シドニー、アテネと3大会連続でオリンピックに出場、深山さんは、スポーツ実況中継やスポーツシンポジウムでの司会等で活躍されています。

今回は、お二人の対談形式でいろいろなお話を伺いました。

- 小学生の頃は、水泳・柔道・ソフトボールと、どれも真剣に取り組み、1つの競技で得たものが別の競技で役に立つこともあり、多くのスポーツに携わるのは大切
- 小学6年生で、オリンピックの開会式を見て、格好いい!とオリンピックを意識し始めた。ソフトボールで、ナショナルチーム選考会に合格、練習はかなりハードで、夜、目を閉じて、次に目を開いたらもう朝というほどだった。
- しっかり準備をしていたのでオリンピックでは緊張はしなかった。
- 開会式は、「華やかに見えるけど、ウラは大変」整列に時間がかかり、長い長い坂を上り、時に走らされ、でもようやくスタジアムに入ったときは地響きかと思われるほどの歓声に包まれ、感動の瞬間だった。

- 「自分に自信のあるところを伸ばして行きなさい、勉強も同じ」(質問のお答え)

次に、ピッチングを披露して頂きました。生徒が実際に捕球したり、バッターボックスに立ってみたり、見ている生徒からも歓声が上がりました。その後、本校ソフトボール部を御指導頂きました。高山先生が二度としたいと仰っていた、練習の一部を实践、先生直々にノックや、ピッチング指導を受けました



高山先生は現在はスケルトンに挑戦中、また車いすソフトボールの普及活動に尽力されています。今後の活躍を見守りましょう。

ありがとうございました。



あいさつ運動

国立三中生徒会役員と有志による、朝のあいさつ運動を今年も一・五・七小で行いました。小学生にとって、素敵な上級生に見えたことでしょう。



11月～12月 予定

11月	12月
16(木) 期末考査始	4(月) 教育進路相談週間始
20(月) 期末考査終 生徒委員会	8(金) 教育進路相談週間終
21(火) ②～⑥復習確認テスト(1)(2)	11(月) 避難訓練
24(金) 受験写真撮影(3)	13(水) 生徒委員会
27(月) 生徒会朝礼 企業の方による面接練習(3)	15(金) スキー教室保護者会(1) 私立入試相談
	18(月) 生徒会朝礼
	22(金) 給食終 ⑤大掃除
	25(月) ③終業式 安全指導

